





OBCI

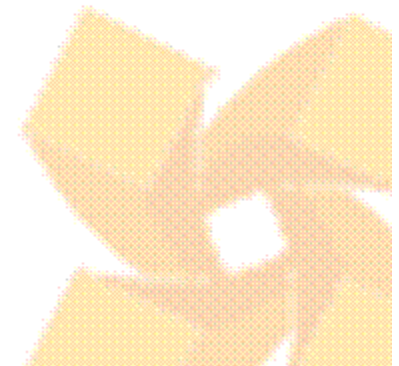
オープンソースビジネス推進協議会

オープンソースカンファレンス2012 OSS「超」入門 by OBCI

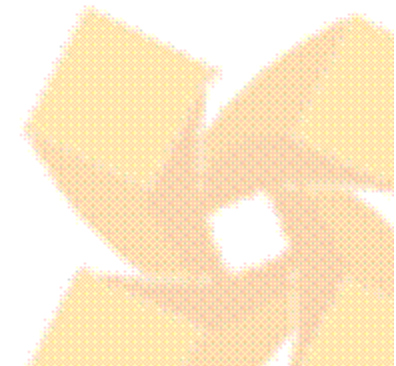
OBCI事務局
寺田雄一

- 野村総合研究所にて、多くの大規模Webシステム構築プロジェクトに、ITアーキテクト（基盤リーダー）として従事、方式設計、基盤構築を行う。
- 2003年に、オープンソースソリューションセンター（OSSC）を企画、設立。
- 2004年に旧MySQL社とパートナー契約。
2005年に旧JBoss社とパートナー契約。
- 2006年、社内ベンチャーにてOSSサポート事業を外販を開始。サービス名称を、“OpenStandia”に。
オープンソース・ワンストップサービスを展開。
事業責任者として活動。
- 2008年6月、オープンソースビジネス推進協議会（OBCI）を企画、設立。事務局担当理事に就任。
- 2010年10月、Jaspersoft社とパートナー契約。
- 2010年10月、OpenSSO&OpenAMコンソーシアムを企画、設立。会長に就任。

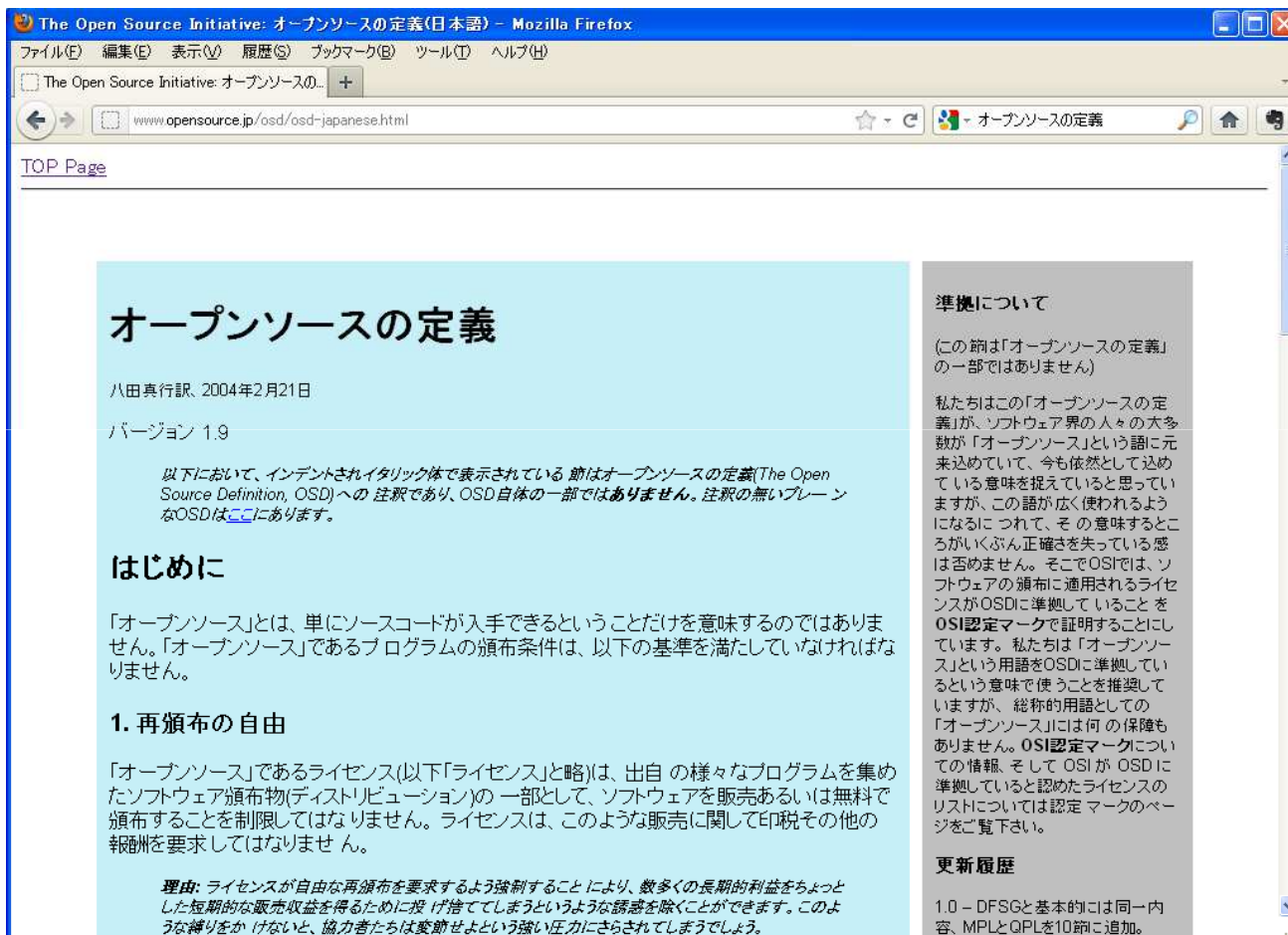
● オープンソースとは？



- 「オープンソース・ソフトウェア」の略
 - ▶ 「オープンソース・ハードウェア」というものもある。
 - ▶ 一般的に「オープンソース」といえば、「オープンソース・ソフトウェア」を指す。



● オープンソースの定義



The screenshot shows a Mozilla Firefox browser window displaying the Japanese OSD page. The browser title is "The Open Source Initiative: オープンソースの定義(日本語) - Mozilla Firefox". The address bar shows "www.opensource.jp/osd/osd-japanese.html". The page content includes the title "オープンソースの定義", the author "八田真行訳, 2004年2月21日", and version "バージョン 1.9". The main text defines open source and lists criteria for being open source, such as "再頒布の自由" (Freedom to redistribute).

(出所) <http://www.opensource.jp/osd/osd-japanese.html>

簡単に言うと...

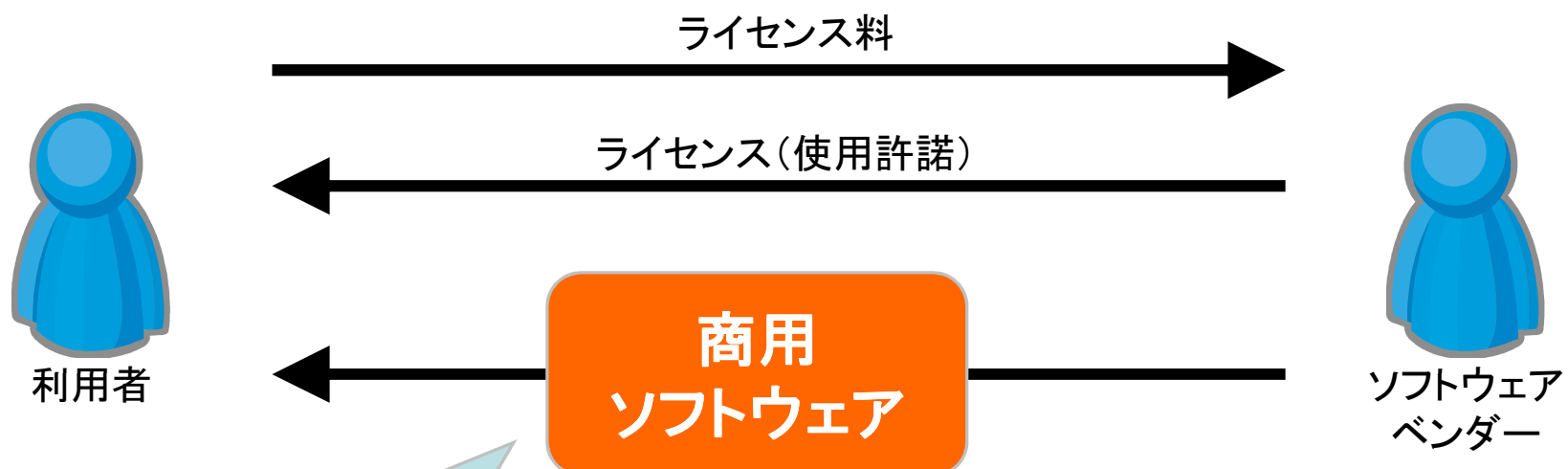
- ソースコードが、インターネット等で公開されているソフトウェア。
- 基本的には無償で利用できる。
- 近年、その機能や性能、品質が商用製品と比較しても遜色ないレベルになってきたことから、普及が促進している。

■ オープンソースの特徴

- ・再配布の自由（無償である）
- ・ソースコードの公開（誰でも見れる）
- ・改変の自由（誰でも改変できる）
- ・“コミュニティ”と呼ばれるボランティアにより開発されている。
- ・非常に多くの利用者の手によってテスト&改善がされ、機能と品質が向上する。
- ・基本的に、サポートが無い。自己責任により使用する。

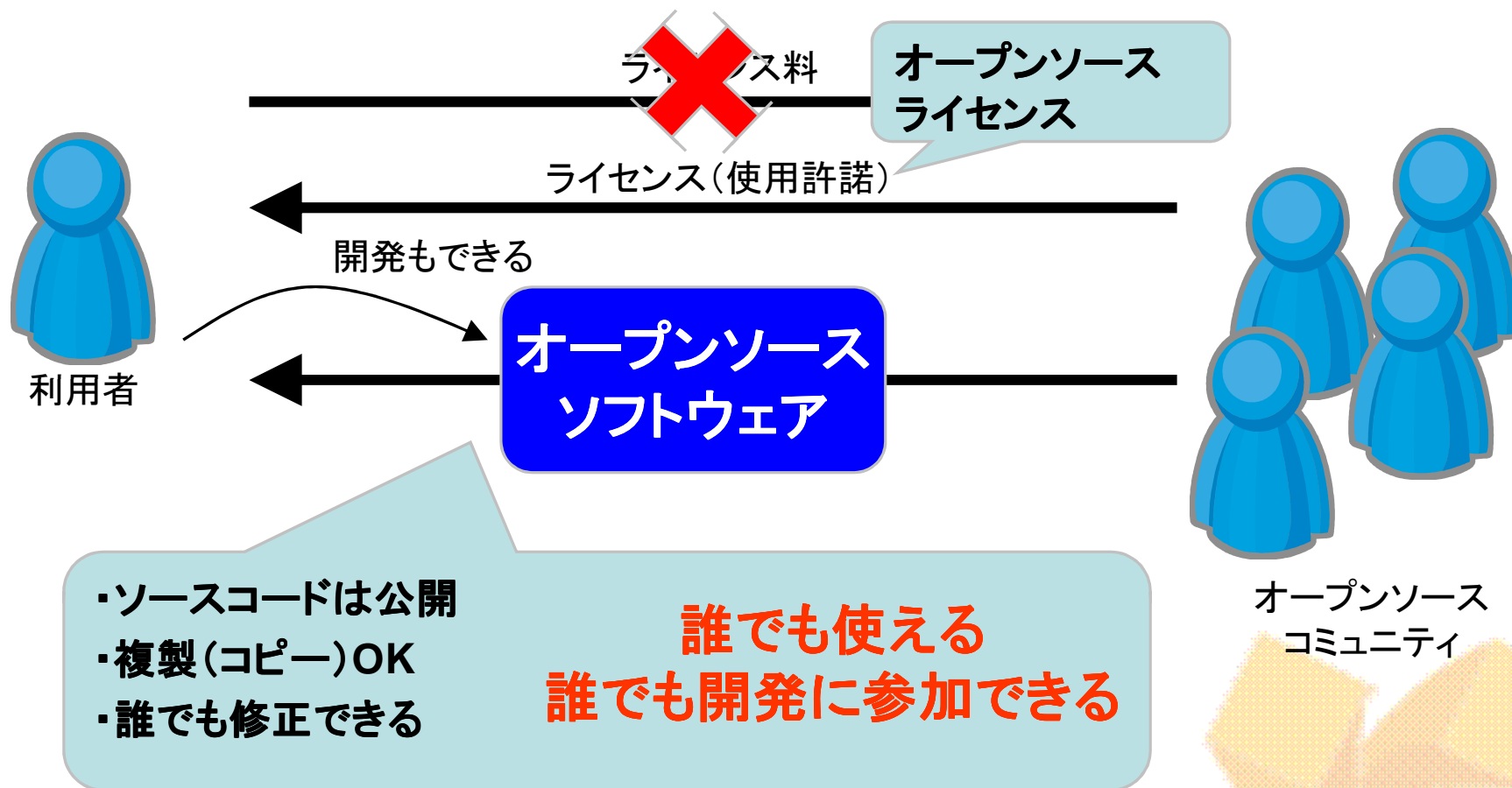
カテゴリー	商用製品	オープンソース
OS	Windows (Microsoft) HP-UX (HP)	RedHat Enterprise Linux CentOS
Webアプリケーションサーバ	WebLogic (Oracle) WebSphere (IBM)	Tomcat JBoss
データベース	Oracle (Oracle) SQL Server (Microsoft)	MySQL PostgreSQL
シングルサインオン	HP IceWall (HP) Tivoli Access Manager (IBM)	OpenSSO
企業情報ポータル	SharePoint (Microsoft) INSUITE (ドリーム・アーツ)	Liferay
情報分析	BusinessObjects (SAP) Hyperion (IBM)	Pentaho JasperSoft BI Suite

● 商用ソフトウェアの場合



- ・ソースコードは極秘
→ 真似されてしまうので
- ・複製(コピー)禁止
→ タダで使われてしまうので
- ・ソフトウェアベンダーだけが修正できる

● オープンソース・ソフトウェアの場合



- 「オープンソース・コミュニティ」
 - ▶ 一般的な「コミュニティ」は、「共同体、集団、地域社会」
- 特定のオープンソース・ソフトウェアの開発や普及活動を行うことを目的とした、人々の集まり
- 開発コミュニティ
 - ▶ オープンソースを開発するコミュニティ
(例) Seasarプロジェクト、Ruby開発コミュニティ
 - ▶ 企業がコミュニティを主導する場合もある
(例) MySQL (Oracle)、JBoss (RedHat)
- ユーザーコミュニティ
 - ▶ オープンソースを利用するにあたり、情報交換を行ったり、日本語ドキュメントの作成を行ったりするコミュニティ
(例) 日本JBossユーザ・グループ、日本MySQLユーザ会、
日本PostgreSQLユーザ会、日本JasperServerユーザ会

- 「オープンソース・ライセンス」
 - ▶ 一般的な「ライセンス」は、「使用する権利、利用許諾」
- オープンソースの利用許諾であり、使用するにあたって守るべき条項が書かれている。
- 主要オープンソース・ライセンス

	ソース公開	再配布	改変	伝播	保証	代表的OSS
GPL	要※	OK	OK	する	なし	Linux
LGPL	要※	OK	OK	する※	なし	JBoss
BSD	不要	OK	OK	しない	なし	PostgreSQL
Apache Software License (ASL)	不要	OK	OK	しない	なし	Apache

※ソースコードの公開は、配布をした際に義務が生じる。

※LGPLのソフトウェアを動的に呼ぶ場合には派生しない。

● GPL (ジーピーエル)



● LGPL (エルジーピーエル)



● BSD (ビーエスディー)



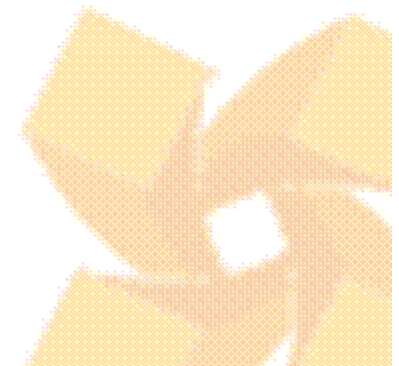
● Apache Software License (アパッチ ソフトウェア ライセンス)



(注意が必要なケース)

- オープンソースを使ったソフトウェアを、他に配布する場合。(ex: 製品として販売する)

- 自社システムで利用する場合は、それほどセンシティブになる必要はない。



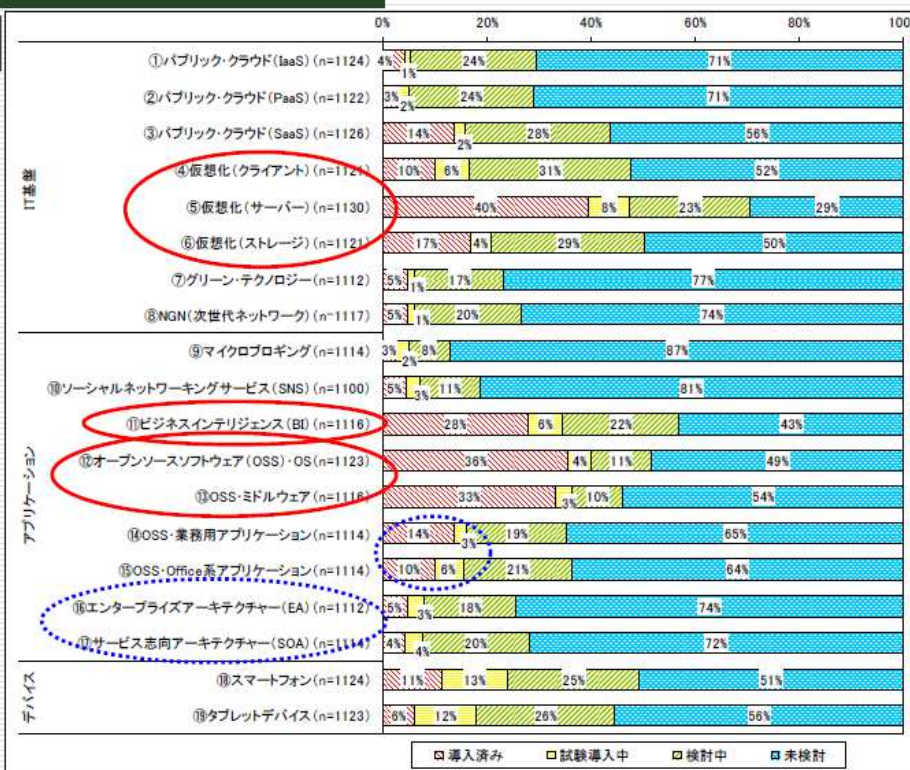
導入が進む「仮想化」は「サーバー」から「ストレージ」「クライアント」へと拡大中
「OSS」は「OS」と「ミドルウェア」を中心に普及が速増
「BI」は「売上高1兆円以上」の企業では2/3が導入済みで導入が一巡か

新規テクノロジーの導入状況

・新規テクノロジーの中で、導入が進んでいるのは、「仮想化」「OSS(OS、ミドルウェア)」「BI」であった。

・「OSS」はアプリケーション系の導入率がまだ低い。
OSS普及の鍵のひとつは社内(あるいは外注)による保守サポート体制の充実であろう。
・「BI」は09年度は企業経営活動の「見える化」の一環で改めて注目されている傾向が見られたが、10年度は特に「売上高1兆円以上」の企業で導入が一巡した感がある。

・「EA」や「SOA」はいまだ対応途上。導入が進むドライバーのひとつは既存のレガシーシステムの刷新ニーズの顕在化であろう。

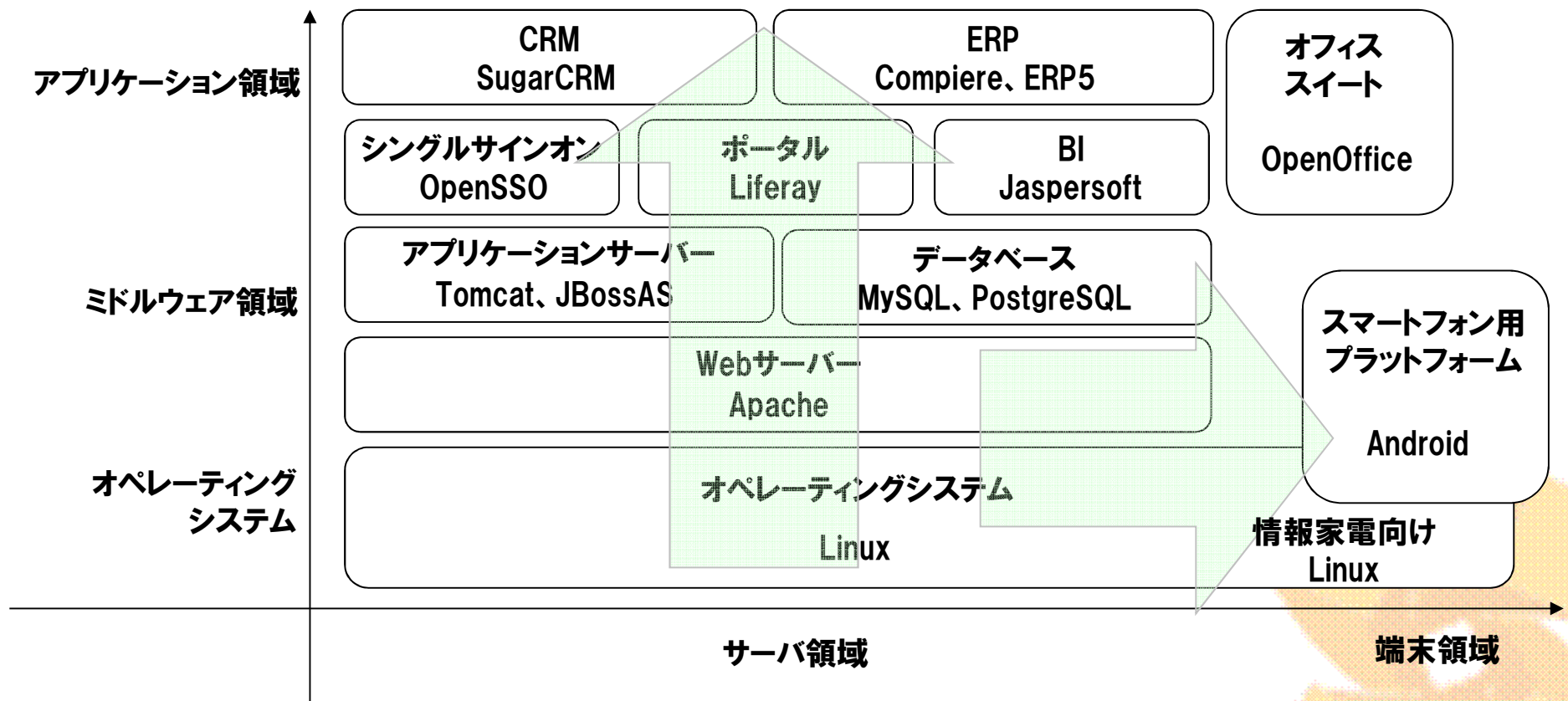


(C)JUAS 2011

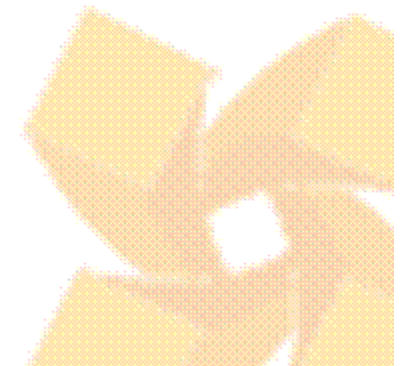
- 各業界の「トップ企業グループ」が、既にオープンソースを活用し、成果をあげている。

業種	OSS
大手銀行、地銀、信用金庫	Tomcat、JBoss、他
大手証券会社	JBoss、MySQL、他
大手自動車メーカー	PostgreSQL、他
大手自動車部品メーカー	Apache、Tomcat、JBoss、OpenAM、Liferay、他
大手電子機器メーカー	Tomcat、JBoss、MySQL、OpenAM、Liferay、他
大手家電メーカー	Tomcat、Subversion、OpenAM、他
大手化学メーカー	Tomcat、PostgreSQL、他
通信会社	Tomcat、JBoss、OpenLDAP、他
電力会社、電力会社グループ企業	JBoss、PostgreSQL、OpenAM、Liferay、他
大手流通業	Apache、JBoss、Liferay、他
大手商社	JBoss、MySQL、他
大手メディア企業	JBoss、MySQL、他
大手システムインテグレーター	各種OSS、事例多数

- OS(Linux)、Webサーバ(Apache)、開発環境(Eclipse)はほぼ成熟。
- APサーバ(JBoss)、DBMS(PostgreSQL、MySQL他)も商用製品のシェアを次第に奪いつつある。
- 業務アプリではSugarCRM(CRM)、Liferay(EIP)、JasperSoft(BI)などがよく使われている。
- 一方、端末領域のOSS活用も進んでいる。



● オープンソースは大丈夫？



オープンソースの3つ（+1）の誤解

● オープンソースは品質が悪い？

- ▶ 誤解です。
- ▶ むしろ、商用製品よりも品質が高いケースもあります。
- ▶ 大規模システムへの導入実績も豊富です。

● オープンソースは実は高い？

- ▶ 誤解です。
- ▶ 利用ノウハウがない場合は、有償サポートサービスを活用することで、リスクを低減しつつ、確実にソフトウェアコストを削減できます。

● オープンソースを扱えるエンジニアがいない？

- ▶ 誤解です。
- ▶ 商用製品を扱えるエンジニアであれば、オープンソースも簡単に扱えます。
- ▶ ソースコードレベルのサポートは、有償サポートサービスのご利用をお勧めします。

● オープンソースは自己責任？

- ▶ 様々な有償サポートサービスがあります。有効に活用しましょう！

▼ 正会員企業 (50音順)

7社



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



株式会社 電通国際情報サービス



株式会社 インターネットイニシアティブ



日本アイ・ビー・エム株式会社



SRA OSS, Inc 日本支社



株式会社 野村総合研究所



株式会社日立ソリューションズ

▼ 一般法人会員

37社

株式会社SBI証券、住友電気工業株式会社、第一生命保険株式会社、日本電信電話株式会社 NTTオープンソース ソフトウェアセンター、三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社、株式会社アイエイエフコンサルティング、株式会社アイティーブレン、株式会社I2C、株式会社アクティス、株式会社アーティスティックス、株式会社アールワークス、ウチダスペクトラム株式会社、株式会社オークニー、株式会社オルト、株式会社ガイア、株式会社クライム、有限会社クラフト、クリエーションライン株式会社、株式会社KSKソリューションズ、コアネットインタナショナル株式会社、株式会社コムカル、株式会社ザクロ、株式会社GIM、株式会社ゼンク、タヌキソフトウェア有限会社、TIS株式会社、テンプスタッフ・テクノロジー株式会社、株式会社トゥルーワン、バブ日立ビジネス株式会社、日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社、ヒーローメタジャパン株式会社、株式会社ビッグツリーキャピタル、株式会社ブレインチャイルド、株式会社フューズネット ワーク、ライトイヤーズ株式会社、株式会社RYUS、ワークブレインジャパン株式会社

【ご賛同いただいているオープンソースコミュニティ】

日本JBossユーザ・グループ、日本MySQLユーザ会、日本PostgreSQLユーザ会、日本JasperServerユーザ会

オープンソースビジネス推進協議会

Opensource Business Creation Initiative

OBCIは
オープンソースの力で
ユーザー企業のビジネスに
新たな価値をご提供します。

<http://www.obci.jp/>

本資料に掲載されている会社名、製品名、サービス名
は各社の登録商標、又は商標です。